

タイトル (活動概要)	25 「聴き方じょうずになれるかな」 ～話すこと・きくこと体験～	アプローチ (関連する力)	「自分づくり」① ② 「仲間づくり」⑮		
タイミング (実施時期)	クラスでの人間関係をさらに 深めたい時	活動 場所	教室	所要 時間	30分
対象学年	幼・小低・小中・ 小高 中1 ・ 中2 ・ 中3 ・高	対象 規模	学級	活動 場面	教室
活動のねらい	<p><背景>群れあい体験の不足から、話の聴き方が不得手な子どもが多い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話の聴き方によって話しやすくなったり話しにくくなったりすることを知る ・友だちと思いやりある会話や話し合いができるようになる 				
準備	・ふり返しシート ・ストップウォッチ				
学 習 ・ 活 動		支援の観点・留意点等		資料等	
1 導入 <ul style="list-style-type: none"> ・2人ペアになり、じゃんけんゲームで楽しむ (後出しじゃんけんで①相手に負ける②あいこになるようにする。5回続けてできたらお互いに拍手) 		<ul style="list-style-type: none"> ・学級全体がリラックスした雰囲気になるように配慮する 			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> 話す人がもっと話したくなるような、聴き方じょうずになれるかな </div>					
2 主活動 <ul style="list-style-type: none"> ・2人ペアになり、話し手と聞き手に分かれる ・話し手が2分間話をする。 ①聞き手は無表情で知らんぷりをする ・話し手・聞き手を交代して行う ・どんな感じがしたか、ペア同士でふり返る ②聞き手は相手の目を見て、うなずいたり相づちをいれたりして積極的に聞く ・話し手・聞き手を交代して行う ・どんな感じがしたか、ペア同士でふり返る 		<ul style="list-style-type: none"> ・話しやすいテーマを設定する ・無表情の聴き方と積極的な聴き方を2つの聴き方を体験することについて事前に説明する ・ルールの説明を十分に行う (3基本ルールの徹底) ・聴き方により話しやすくなることがわかり、普段の生活の中で生かすことができるようにする 		ストップウォッチ	
3 ふり返り <ul style="list-style-type: none"> ・ペア同士のふり返りをもとに、全体でふり返る ・ふり返りシートに気づいたことを記入する 				ふり返りシート	
配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> ・学級集団に公正さや寛容さが形成されているか、実施前にアセスメントを行うようにする ・対人関係の不得手な子どもには十分に配慮する (パスOKの確認) ・自分自身について、自己表現できたことを評価する 				

参考：犬塚文雄「社会性と個性を育てる毎日の生徒指導」（図書文化、2006）

